

栃木中央地域包括支援センター

日 時： 令和8年6月16日（火）午後1時30分～2時00分

会 場： 栃木市役所302会議室

事例数： 1ケース（12月16日検討した事例の振り返り）

参加者数： 10名

事例提供者1名、助言者7名、包括職員2名、傍聴者1名

右半身の痺れ、肩の痛みのため活動に制限が生じている 70 歳男性。

〈目標〉1日:公園で歩く

1年:右足を引きずらずに歩けるようになる

利用サービス：介護予防通所介護（従前）

《前回会議での支援策》

支援方針

- ・整形外科、泌尿器科、歯科医院で再評価していただき、必要なケアやリハビリに繋げる。
- ・心不全や脳梗塞再発の可能性があるので、受診し精査する。
- ・老々介護であり、地域からの孤立を予防するために、少しずつ社会との繋がりが持てるとよい。

助言内容

- ①夜間頻尿について泌尿器科への受診や、飲酒量の調整について相談を行う。
- ②寝ている間に細菌が増殖するため、歯磨きの必要性を伝える。
- ③肩の痛みを含め整形外科を受診を勧める。
- ④オレンジカフェ等で社会参加ができるとよい。

《支援結果・状況》

- ①未達成：夜間頻尿については、内服にて過活動膀胱の治療がされており、回数は減ってきている。
飲酒量については変化はないが、人生観を尊重しながら、飲酒量の調整を行っていく。
- ②一部達成：就寝前に泡歯磨きをするようになった。歯ブラシではないと汚れは取れないため、歯ブラシ使用の提案をする。
- ③未達成：整形外科に受診していない。歩行については歩行状態改善が見られているが、肩の痛みは治療にて改善する可能性があるため、再度受診を勧めていく。
- ④達成：隣人との関わりや散歩中に挨拶できる人がいるなどつながりができている。